

平成15年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
1	日本機械学会教育賞	機械システム工学専攻 教授 前川 博	ロボットやメカトロを題材にした機械工学における創造性教育の方法を開発するとともに、それを社会に還元して小中学生の創造性教育や市民への啓蒙活動に応用実践したことや、この活動を通じて学生のみならず地域への青少年に対して工学教育への強い動機付けとなる教育的効果をあげた。受賞題目：「ロボット・メカトロニクスに対する創造性教育と社会貢献の実践」	日本機会学会会長	平成15年4月12日
2	平成14年度溶接学会研究発表賞	機械システム工学専攻 助手 山本 元道	平成14年度春季全国大会において、「レーザー溶接部の3次元弾塑性ひずみ解析手法の検討 - Ni基耐熱超合金レーザー溶接部の高温割れ発生評価法に関する研究(第1報) -」と題しての研究発表が優秀であったため今後の研究の発展性が期待されるとして評価されたため	(社)溶接学会会長	平成15年4月24日
3	日本造船学会奨励賞	社会環境システム専攻 助手 柳原 大輔	船体の縦曲げ崩壊挙動に関する研究と水圧と面内圧縮荷重を同時に受ける防撓パネルの強度推定法に関する研究が、今後の船体構造の安全評価に寄与するところが多く、今後の研究の発展性が期待されるとして評価されたため。	(社)日本造船学会会長	平成15年5月14日
4	粉体粉末冶金協会研究進歩賞	機械システム工学専攻 助手 鈴木 裕之 教授 篠崎 賢二 教授 黒木 英憲	プラスチックフィルムを張った金型にスラリー状の超微粒子アルミナセラミックを高速遠心法を用いて沈降させ成形体を得ると、極めて高い強度を有するアルミナ焼結体が得られることを見だし、強化機構を解明した。研究題目：「高速遠心成形法による超高強度アルミナの作製と高強度化機構の解明」	(社)粉体粉末冶金協会会長	平成15年5月21日
5	社団法人日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門ベストプレゼンテーション表彰	複雑システム工学専攻 教授 辻 敏夫	日本機械学会2002年度ロボティクス・メカトロニクス講演会で発表した論文「人間のインピーダンス知覚能力の解析」が公演内容、プレゼンテーションともに特に優秀であるとして、684件の発表の中から選ばれたため	(社)日本機会学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会2002 実行委員長	平成15年5月24日
6	平成14年度日本空気清浄協会賞論文賞	物質化学システム専攻 教授 奥山 喜久夫	分子状汚染物質の付着量測定に関して詳細な検討を行なった「ガス状有機汚染物質の壁面付着量の実時間計測と付着挙動の評価」と題した研究論文が、独創性、実用性、及び学術レベルにおいて優秀であると認められたため。	(社)日本空気清浄協会会長	平成15年5月29日

平成15年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
7	平成14年度日本空気清浄協会賞論文賞	物質化学システム専攻 助教授 島田 学	分子状汚染物質の付着量測定に関して詳細な検討を行なった「ガス状有機汚染物質の壁面付着量の実時間計測と付着挙動の評価」と題した研究論文が、独創性、実用性、及び学術レベルにおいて優秀であると認められたため。	(社)日本空気清浄協会会長	平成15年5月29日
9	社団法人日本医科器械学会平成15年度論文賞	複雑システム工学専攻 教授 辻 敏夫 教授 坂和 正敏	『医科器械学第72巻第5号』に掲載された論文「ヒトの運動解析に基づく義手に関する研究」が特に優秀であり、医科器械学の分野の発展に寄与するものとして評価されたため。	(社)日本医科器械学会理事長	平成15年6月6日
10	分離技術会技術賞	物質化学システム専攻 助教授 北村 光孝	ポリマーと溶媒の親和性制御という新たな概念をポリマー晶析における粒子径制御技術に導入し、電子写真方式による国産初のデジタル印刷機のマイクロカプセル型トナーの開発と工業化に成功したことが評価されたため。	分離技術会会長	平成15年6月6日
11	日本建築学会奨励賞	社会環境システム専攻 助手 宇高 雄志	多様な民族で構成される社会での混住現象の検討は、安定した民族関係を維持するうえで必須である。本研究は、比較的安定した多民族社会のマレーシアの集落を対象に、混住-すみわけ現象と生活空間に見られる民族性を考察した論文内容が優秀であると認められたため。	社団法人日本建築学会会長	平成15年9月5日
12	Finalist for Best Conference Paper Award in 2003 IEEE International Conference on Robotics and Automation (ICRA 2003)	複雑システム工学専攻 教授 金子 真 教授 辻 敏夫 医歯薬学総合研究科 助教授 田中 信治	2003 IEEE International Conference on Robotics and Automation (ICRA 2003) において発表した、内視鏡先端から空気を胃壁に吹き付け胃ガンを検出するセンサに関する研究成果が、新規性と計測・医療分野の発展に大きく寄与するものとして評価されたため。	General Chair of ICRA 2003, President of IEEE Robotics and Automation Society(RAS)	平成15年9月17日

平成15年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
13	日本機械学会設計工学・システム部門優秀発表賞	社会環境システム専攻 助手 柳原 大輔	工学部第四類で行なっている、紙のみを使って人が乗れる物を設計・製作する創成型授業“Paper Bicycle Project”に関する発表が優秀であり、その授業が今後の設計教育の発展に寄与するところが多いとして評価されたため。	社団法人日本機械学会 設計工学・システム部門部門長	平成15年10月31日
14	SAMPE Japan, Excellent Paper (Society for the Advancement of Material and Process Engineering, 先端材料技術協会優秀論文賞)	機械システム工学専攻 助手 松木 一弘 助教授 佐々木 元 教授 柳澤 平 他	2003年11月東京ビッグサイトにおいて開催された 8th Internatinal SAMPE Symposium and Exhibition において発表した研究発表論文「Influence of Fiber Surface Structure on Interfacial Reaction of Carbon Fiber Reinforced Aluminium Matrix Composites」が、優れた研究内容と材料工学の発展に多大の貢献をしたものとして評価されたため。	SAMPE Japan, President	平成15年11月20日
15	2003年度計測自動制御学会学術奨励賞 研究奨励賞	複雑システム工学専攻 助手 東森 充	2002年12月神戸市産業振興センターにおいて開催された計測自動制御学会第3回システムインテグレーション部門講演会において発表した100GキャプチャリングシステムーDynamic Preshapingーに関する研究発表が、ロボット分野における新規性とマニピュレーション技術の発展に貢献し、優秀な研究であると認められたため。	社団法人計測自動制御学会 会長	平成16年2月23日
16	日本エネルギー学会 進歩賞(学術部門)	機械システム工学専攻 助教授 松村 幸彦	水の蒸発を抑制するために高圧で熱処理を行ない、同時に熱回収を効率よく行なうことによって、水を多く含んだバイオマス資源からエネルギー回収を行なうことを可能とする超臨界水ガス化技術の開発に取り組み、反応機構の解明、超臨界流体の取り扱い等について学術的に取りまとめたことが評価されたため。	社団法人日本エネルギー 学会会長	平成16年2月24日
17	IEEE Reliability Society Japan Chapter 学術奨励賞	情報工学専攻 助教授 岡村 寛之	「セミマルコフ決定過程におけるコンピュータシステムのダイナミックパワーマネジメントモデルの構築」と「動的捕獲再捕獲法によるソフトウェア信頼度の推定」が信頼性工学の発展に寄与するものとして評価されたため。	Chair of the IEEE Reliability Society Japan Chapter	平成16年2月27日

平成15年度各種表彰等の受賞者について

	賞の名称	受賞者の所属・職・氏名	受賞理由	授与者	授与年月日
18	日本コンピュータ外科学会論文 集 最優秀賞	複雑システム工学専攻 教授 金子 真 医歯薬学総合研究科 助教授 田中 信治	内視鏡の先端から空気噴流を胃壁に吹き付けて力を印加し、そのときの変位応答から胃ガンの有無を検出する画期的な手法を提案したことが、今後の医療分野の発展に大きく寄与するものとして評価されたため	日本コンピュータ外科学会 理事長	平成16年3月20日
19	日本機械学会フェロー	機械システム工学専攻 教授 前川 博	日本機械学会フェロー選考規程に従い、日本機械学会に対して学術的業績による貢献が大であるとして受賞をしたものである。日本機械学会賞をはじめ流体力学に関するこれまでの多くの学術業績が日本機械学会に貢献したことが認められ、全会員の3～5%である学会フェローとしてふさわしいと認定されたため。	社団法人日本機会学会会長	平成16年3月24日
20	日本機械学会フェロー(Fellow of JSME)	機械システム工学専攻 教授 澤 俊行	機械工学と技術に関する優れた学問的業績を挙げた。また、工業規格の策定と制定に関しても優れた指導性を発揮し、産業や技術の適正な発展に貢献した。 本会委員会委員および委員長を務め、本会の運営に多大の貢献をしていることが評価されたため。	日本機会学会会長	平成16年3月26日
8	計測自動制御学会制御部門パ イオニア賞	機械システム工学専攻 助教授 増渕 泉	出力フィードバック補償器設計やディスクリプタシステム、ゲインスケジューリング制御系の設計など、LMIによる制御系設計法に関する一連の研究により、制御システム分野の新しい発展を切り開いたことが評価されたため。	(社)計測自動制御学会制 御部門部門長	平成15年2月29日